

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和5年5月号 No.192

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

令和5年度名古屋木材業界新入社員歓迎会・講習会

令和5年4月7日(金)午後1時30分から名古屋木材会館において、名古屋木材組合員各社の新入社員28名(参加企業8社)を迎え、名古屋木材組合主催、名古屋木材青壮年会主管により歓迎会、講習会が開催された。

最初に西垣洋一組合長より「SDGsやカーボンニュートラルに寄与するとして、木材には追い風が吹いている。世界的に木材が求められている」と業界について述べ、「我々とともに業界にイノベーションを起こし、新しい時代を築いて行こう」と激励の言葉を贈った。

この後、新入社員を代表して矢田久美子さん(服部産業(株))が「学生時代の経験を活かし日々を楽しく、充実した毎日を送り、一日も早く期待にそえるよう精進します」と誓いの言葉を述べた。

続いて、名古屋木材青壮年会令和4年度会長 保坂将光氏よりオリエンテーションのあと、講習会①「新社会人のためのビジネス・マナー」として外部専門講師矢田美穂子先生が、挨拶の仕方・名刺交換・電話対応・来客対応などを実習した。

講習会②「木材の基礎知識」として、名古屋木材青壮年会 梅谷雄高氏を講師に「商品の基礎知識」「建築の基礎知識」「流通の基礎知識」の講習会が行われた。



令和5年度模範従業員 表彰式

令和5年4月20日(木)午前10時より名古屋木材会館において、木材業界に永年勤務され、他の模範となる名古屋木材組合員各社従業員の方々に対する表彰式が開催された。

児玉 豊文化厚生委員長の司会進行のもと、西垣洋一組合長の主催者挨拶の後、名古屋市長表彰、名古屋木材組合長表彰が行われ、賞状及び記念品が手渡された。

その後、市長(代理 名古屋市経済局産業労働部 遠山将史産業企画係長)からの祝辞が寄せられ、受賞者を代表して園山英之氏(株山西)が謝辞を述べた。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

◎市長賞(勤続年数30年以上)

・園山英之(株山西)・楠 康博(株山西)・渡邊 茂(株山西)

◎組合長賞(勤続年数15年以上)

・佐々木富雄(上地木材(株))・都築勇一郎(上地木材(株))・伊藤正季(株サンコー)
・加藤典子(株サンコー)・武田吉兼(株サンコー)・浅野順子(株サンコー)・森 辰徳(材惣木材(株))
・西川弘城(材惣木材(株))・森 瑞穂(材惣木材(株))・五十嵐夏子(材惣木材(株))
・鈴木善一朗(株東海木材相互市場)・山田まど佳(フルハシEPO(株))・田中哲雄(フルハシEPO(株))
・本田潤二(フルハシEPO(株))・木村明博(フルハシEPO(株))・藤井 緑(株山西)・萩野谷康之(株山西)
・大辻哲平(株山西)・吉田 悠(株山西)・成田正弘(株山西)・大前雄哉(株山西)・太田章吾(株山西)
・村井裕之(株山西)



“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

さわやかとーく

ゲスト：西垣 昭宏 名古屋木材青壮年會會長
聞き手：川村 寿男 広報委員長 (名古屋)

「さわやかとーく」のゲストとして名古屋木材青壮年會の2023年度會長に就任された西垣昭宏氏をお招きしました。コロナ感染も4年目となり、ようやく峠を越えた感があります。青壮年會の活動も長期間、制限されてきましたが、新しい環境の中で、今年の活動に大きな期待が集まります。第61代會長という長い歴史のある団体のリーダーとしてどうするか。1年間の抱負などについて語っていただきました。

(聞き手は川村 寿男広報委員長)

—コロナ禍も5月連休明けには第5類に分類されるなど新しい段階に入りました。社会活動も変化が予想される状況です。まず會長就任に当たっての抱負をお聞かせください。

西垣 長い間、ZOOM會議が続いてきましたが、今後はアフターコロナの時代を迎えることとなりますので、違った活動ができると期待しています。

今年の會長スローガンは、「シン・名古屋木材青壮年會へ」としました。「シン」にはもちろん「新しい」という意味がありますが、それだけでなく「伸」「親」「進」「深」などの文字の意味も込めています。親睦を深めながら自らを成長させ、学びながらより深掘りし、皆さんと共に前進して社業にもつなげてもらえればと、いろいろな思いを込めさせていただきました。

—若手の人材不足がいわれていますが、現在の會員数の推移はどうですか。

西垣 今期は34名でスタートしました。ここ数年、會員卒業などで退會される先輩がたくさんいましたが、鈴木善一朗前々會長、保坂将光前會長など先輩の會員拡大への努力が実を結んで3名の増加となり、感謝しています。會員は製材、機械、木材加工、流通など多岐に渡っています。さらに愛知県の行政からは退會された會員に替わり女性1人を含めて2名が入會されます。行政施策や事業支援などの情報交流が強まり、會の活動にも大きなプラスになると思っています。また、會員として木材機械関係からも女性が入會されますが、今までになかったことではないかと思えます。女性としての視点と活躍によって會を盛り上げて頂くことを期待しています。

—具体的な活動方向は。

西垣 活動を活発化させるため、すべての會員にどこかの委員会に所属してもらい、全員参加型の組織をつくっていく計画です。

アフターコロナでの対面型活動の拡大で、規制の

あった頃とは違った活動ができればと思います。毎月の會合はもちろん、10月「木の日」の戸田川の木工工作、木製品販売などは今年も実施します。また7月に開催される東海地区協議會は愛知県が主管となって名古屋で開催されますので、岐阜県、三重県の青壮年會の皆さんにも、たくさん参加をしてほしいですね。

ただ、現在は愛知県内での青壮年會が名古屋と新城、豊橋の3つしかありません。會員数も減少して、名古屋が一番数が多い現状ですので、この点は少し寂しさを感じます。

—さて、西垣會長は名古屋を代表する企業のひとつの副社長をお務めで、業界をリードする立場でもありますが、木材業界についてどう思われますか。

西垣 よく言われることですが、木材業界は「見せ方」や「ブランディングが下手」という面があるのかと思います。格好つけたり、見せつける必要はありませんが、これだけネットやSNSなどのツールが発達した時代です。大きなお金をかけなくてもできることはあるでしょう。新しい世代につなげていくためにも、やる必要はあるでしょう。

—会でもこの点を研究していきたいと思っていますが、1年でできることではなく継続してやっていくことが必要ですね。

また、これは私の仕事の範疇ですが、「ウッドショック」を経て、価格面での優位性から国産材を軽視してきた反動を強く受けています。環境のためにも、材料としても国産材は大変重要です。この会も全国には山元から、製材、流通など様々な會員がいますから、このネットワークを生かして国産材とのつながりを広げられたらと思っています。

西垣 昭宏氏 (にしがき・あきひろ)

1982年9月、名古屋市生まれ。40歳。明治学院大学卒業後、松下電工(株)に入社。3年間の勤務を経て2010年に父君経営の(株)山西に入社。今年4月、副社長に就任。致知出版社 藤尾社長の「人生は投じたものしか、返ってこない」という言葉が好きという。趣味はゴルフ。家庭では小学4年と、幼稚園年中のお嬢さん2人の父親。



◆ 合縁木縁 ◆

「 タイパとコンテンツ消費 」

「映画を早送りで観る人たち ファスト映画・ネタバレーコンテンツ消費の現在形」 稲田豊史 著
 以前読んだ本ですが、中々面白い内容でした。近頃、タイパ（タイムパフォーマンス＝時間対効果）という言葉をちょくちょく耳にします。映画を倍速視聴することも、タイパを追い求めるが故の行為と言えます。私もテレビに倍速視聴の機能がついていることを知ってからかれこれ10年以上、この倍速視聴を活用してテレビ番組の録画を鑑賞しています。私がこの機能を使うのは、集中力が持続しないのであるべく凝縮して短時間で楽しみたいと思うからです。非常に便利な機能で、Youtubeで動画を見る時にもこの機能をフル活用しています。

倍速視聴の機能は便利な反面、作者が意図的に作った「間」を感じられなかったり、重要なポイントを軽く飛ばしてしまったり、様々なデメリットもあります。意味のないものと思いきや安易に飛ばしてしまうと本質を掴み損なうことに繋がってしまうこともあります。効率ばかり追い求めることに首をかしげる人も少なからずおられるのではないかと思います。

倍速視聴愛好者の自分にも言えることですが、この機能を使いすぎると映像を楽しむとことよりも効率よく情報を入手する行為に近くなり、消費している感覚に陥ってしまいます。この本のキーワードの一つでもある「コンテンツ消費」の状態になります。タイパを追求しすぎると、本来の目的である作品を楽しむことが忘れ去られて「コンテンツ消費」が目的になってしまいます。ただ、倍速視聴をする人の中には「コンテンツ消費」が元々の目的だったりもするのですが（詳しくは本を読んでみてください）。

情報が溢れかえっている世の中で、手っ取り早くリーズナブルに情報を手に入れるか、一つのことを思慮深く突き詰めていくか、ケースバイケースで使い分けるか。多様性の社会の中、様々な選択肢が生まれてきています。

今回は、中国木材株式会社 岡 泰平氏にお願いします。

◆ 自遊で異見番 ◆

稲田委員

長い間ありがとうございました

もうすっかり桜の花も散り、花筏のあと新緑が目に残る季節になりました。最近では高気圧と低気圧が交互に現れ、1日の気温の変化も大きくこの時期特有の降水量も多くなってきました。

正に穀雨の時期、田植えの季節が訪れそして清々しい立夏を迎えようとしています。昨日も夜中に激しい雷雨で目を覚ました。テレビを見ればあちらこちらで雹が降ったというニュースを流していました。天気予報では今週は日によって夏を観測すると予報しています。季節は次第に夏の兆しが見え始めています。

新型コロナウイルスの騒動もまる3年が過ぎ、やっと5月の連休明けより感染法上の位置づけが2類より5類に変わるそうです。当初は未知のものに対する恐怖心で、またその後は感染を広げないためにできるだけ外出を控えたり等、ワクチン接種できるようになった後も色々な煩わしい生活が続いていました。そしてやっとこの時期を迎えることが出来、我々の生活も立夏のごとく清々しいものになって欲しいと願ってやみません。

名古屋木材組合の広報委員会もこの3年の間通常の委員会活動が出来ず、皆で集まって頂いた数々の原稿を校正する通常活動から、メール等での原稿の校正という非対面式で活動をして参りました。事務局の皆さんには大変な徒労をお掛けしたと思います。

さてそのような中、皆様ご存知の稲田恭子広報副委員長が本年の3月20日をもって、お勤めの会社を退職するとともに名古屋木材組合の広報委員を退かれました。実に25年の長きに渡り広報委員として活躍され、特に「恭子のワーキングライフ」を執筆されていたことは皆様の周知のところであります。

25年間と言えば四半世紀であります。その間のご活躍は名古屋木材組合の広報誌の歴史に残る功績と言えるでしょう。この功績称え、そして稲田さんのこれからの人生の益々のご健勝を皆で願うところであります。

稲田さん、
長い間ありがとうございました



第73回全名古屋木材産業野球大会開幕

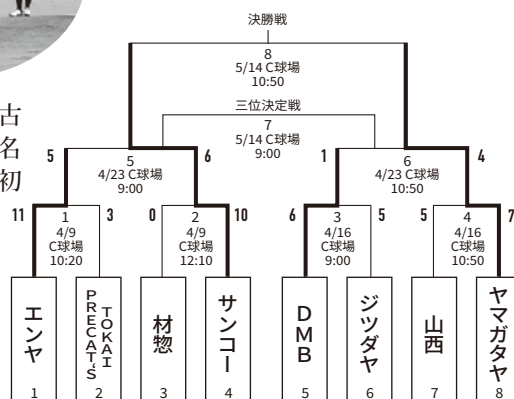
「第73回全名古屋木材産業野球大会」(名古屋木材健康保険組合、名古屋木材組合、名古屋港木材産業協同組合共催)の開会式と1回戦の2試合が「木場南C球場」で4月9日(日)午前9時45分から開催されました。

開会式は全8チームの各選手がチーム名の書かれたプラカードを手に整列し行われました。江口達郎大会委員長が「WBCの熱戦が記憶に新しいところではありますがWBCの選手もかつては例外なく草野球を楽しんだはず。勝っても負けても楽しかったと言われるような大会になれば幸いです。」と挨拶されました。

エンヤチームの伊藤尚哉選手が元気に選手宣誓を行い、続いて名古屋ダイヤモンド野球連盟の山崎定一審判部長がルール説明を行い、名古屋港木材産業協同組合、事務局長の佐治知加子氏が女性として初めて始球式を務め、大会の幕が開きました。



第73回 全名古屋木材産業野球大会



西部臨海地帯企業連絡協議会からのお知らせ

長らく要望しておりました、名古屋西部税関出張所南の南北方向に歩行者専用信号が設置されました。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

ヘルメットが盗まれる!?

道路交通法が改正されて令和5年の4月1日から全年齢を対象に自転車利用時のヘルメット着用が努力義務化されました。これを機にヘルメットを購入された方も多くと思いますが、皆さんはヘルメットを何処に保管していますか?自転車前カゴ等に放置していませんか?自転車やオートバイから離れる際はヘルメットをワイヤー錠で自転車に決着する等して盗難防止に努めましょう!

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

集塵装置の省電力・安全 ご提案します!!

木質バイオマスの利活用

- バグフィルター集塵機
- サイクロン集塵機
- 定量排出装置
- トラック積載装置
- 破砕機 ウッドグラインダー
- 粉砕機 ファンシュレッター
- 火花探知器・安全装置
- 異物除去器
- 木質ペレット製造装置
- プリケッタ
- 送排風機
- ダクト部品

INOUE 井上電設株式会社

快適な環境づくりに取り組む

TEL 052-322-5271 <https://www.inoue-d.co.jp>

人と未来のために高い技術を誇るプレカトシステムのトップメーカー

MIYAGAWA

宮川工機株式会社

〒441-8019 豊橋市花田町字中ノ坪53

TEL 0532-31-1251 FAX 0532-34-1956

URL <https://www.miyagawakoki.co.jp/>

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 服部伸一
 〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会